

子育て
コラム 52
parenting column

子育ては楽しいこともあるけど悩みもたくさん。そんなママのための役に立つアドバイス。

性教育(命の教育)その16 「絵本紹介Ⅱ」

今回も性教育絵本を5冊紹介します。

「おちんちんの話」一男児の性教育絵本が少ない中「自分の体に責任を持てる“体の主人公”になってほしい」という願いで描かれました。太郎くんが両親との対話を通じて、おちんちんから始まる思春期について学んでいきます。言葉で教えることが難しい男児の性の課題が絵でよく表現されていて、お父さんお母さんが子どもとまっすぐ関わっている姿勢に好感が持てます。

「赤ちゃんはどこからくるの?(もっと自分を好きになるドキドキワクワク性教育)」一いのはじまり、おなかの中の赤ちゃん、そして誕生が、やさしくそれでいて詳しく分かりやすく描かれています。とてもかわいらしい絵の中に胎児超音波画像も載っています。

「いいタッチわるいタッチ(だいじょうぶの絵本)」一性被害が多発している今の社会。子ども自身が

“自分を守るために大切なこと”を学べる絵本です。わるいタッチはどんなきもち? いいタッチはどんなきもち? と、幼児にも分かる“きもち”で伝え教えています。

「いろいろななかぞくのほん」一ひとり親、大家族、LGBTなど性的少数者の家族、ペットも家族。いろんな家族や暮らし方があり、いろんな気持ちがあるよ。楽しいイラストで世界の人たちの多様性が分かります。幼少時から、全てにいろいろな形があることを子どもたちに伝えていきたいものです。

「ねえねえ、もういちどききたいな わたしが生まれたよること」一「ねえねえ、もういちどききたいな」と女の子は自分が生まれた夜のことを何度も聞きます。深い愛情でつながっている親子ですが、彼女と両親は血がつながっていません。両親はそのことを正直に話しています。家族や愛情のいろいろな形、血のつながり、心のつながりを教えてくれる温かい絵本です。

「性は心が生きること」です。子どもたちの心に“大事にされているという思い”が育まれ、安心して豊かに生きてほしいと願っています。

●今回紹介した絵本

- 「おちんちんの話」
やまもと なおひで 文、ありた のぶや 絵/子どもの未来社
- 「赤ちゃんはどこからくるの?(もっと自分を好きになるドキドキワクワク性教育)」
井元 ひろい 絵、平原 史樹 監修/少年写真新聞社
- 「いいタッチわるいタッチ(だいじょうぶの絵本)」
安藤 由紀 作/復刊ドットコム
- 「いろいろななかぞくのほん」
メアリ・ホフマン 文、ロス・アスキス 絵、すぎもと えみ 訳/少年写真新聞社
- 「ねえねえ、もういちどききたいな わたしが生まれたよること」
ジェイミー・リー・カーティス 作、ローラ・コーネル 絵、坂上 香 訳/偕成社

子育てひろっぴ「めぐみ」代表
弘田 恵子

大阪府立母子保健総合医療センターNICU
や母乳育児相談室で勤務。その後20年間
高知市内のめぐみ保育園で園長を務め、
平成30年4月から子育てひろっぴで、妊娠
中からの悩みサポートを行う。助産師、看護師、保育士、幼稚園
教諭(二種)、絵本専門士(国立青少年教育振興機構認定)。

